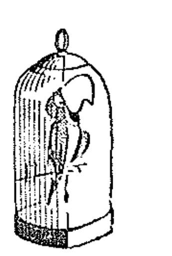
よいこのつどい

長岡西部地区の子供たちは、自分たちのちからによつて、子供会がつくられ、校外生活のこどもの社会での遊びの中から、お互に牽制し合つて正しい判断力を養ない、正しい人間成長に向つて努力を続けている。この姿を知つたお母さんや、青年達が自発的に側面から指導に乗り出し感謝されている。以下は三区西のこども会で、こども自身で考えた綴方の一部である。



私のねがい

小学四年　寺田京子

今日は八月二十四日私は、プールについていろいろと考えました。私の考えを聞いて下さい。私は一日も早くプールが出来ることをまつています、と言うのも毎年川や海では多くの人々が大切ないのちをなくしています。又病気をする人も少なくありません。私達はプールがないため泳ぎに行く時はいつも、おきの川です。たくさんの人で泳ぐ所もありません。またおよいでも水は、どろ水ごみがたくさんたまり、あわが出ます。また川そこには、びんのかけらがあり私たちは、くつをはいておよいでいます。ごみや、びんも気がつけばのけています。けれどもいくらとつてもまだあります。私のとなりの、たけちたかひこ君も、かわいそうに今あれば三年生であるはずだけれど川で、大切ないのちをなくしました。

プールさえあれば、今は元気で私たちみんなと楽しくあそんだりしているのにと、私は一人いや、多くの人々がこうしてしんで行くのがかわいそうでたまりません。プールさえあつたら、プールさえあつたらと思います。みんなのしく、おねえさん、お兄さん、また、かきゅう生と泳ぐことが出来るのにと、お父さんお母さん、私たちのねがいをきいてください、一日も早くかわいい子どもたちのためと思つて、町から、市から、「死」と言う言ばをなくするように、一日も早くプールをつくつてください。

わたしたちは、かみさまに手を合わせてこの日を、まつております。

プール

三区　溝渕勉

ぼくたちの学校には、プールがありません。ですから、国府川へいつて、おぼれたり、たんがんへいつて、おぼれて死んだ人がたくさんいます。プールを作つてもらいたいのです。ぼくたちも協力しますので、ぜひ作つてください。

こどもを、なくした親の気持はどんなになげくかわかりません。この三区西にもおとどし、一年生の武市たかひこくんが、たんがんでおぼれてしにました。その時ぼくはプールがあつたらこんなむごいことにならないにと思つた。

ぼくたちのねがいがかなうのはいつのことでしょう。ぜひ、みなさまがたにおねがいします。

じてんしゃ

小学一年　たにだひでお

ぼくが、いちねんになつたら、じてんしゃを、こうちやる、いいよつたけんど、こんどはさんねんにならなこうちやらん、ゆうたき、おとうさんの、おおきな、じてんしゃを、つきまわりよつた。

じぶんのがぼつかりかわんづか、ぼくのがも、はようこうとをぜ。

プール

森田光徳

よその学校には、プールがあるが、ぼくらの学校にはープルがない。ぼくらが、そつぎようしていつても、あとのせいとには、プールをあたえてやりたい。おきの川のびんがあるところへいつて、足をきつた人は何人もいる。だからせめてあとのせいとだけでも、プールをあたえてやりたい。

東京 ドライブ 高知

田村鉄空

最近の自動車熱はすばらしい、一つのブームである。私もこのブームに巻込まれた一人だ。ぼろ車をさがしに東京にきてみるとその車の多いのにまづ驚く、水の流れの如く走つている。それが五〇〜六〇キロ出しているから道路は信号なくしては絶対横切れない。四五日費してルノーの中古車をやつと見付けた。財布とのそうだんであるからなか／＼手間がかゝる。六月二十日午前十時上野の西郷さんの銅像の前を出発東京市内の運転はどうもじしんがないので買つたところの人に市外までの運転を頼んだ。東京を外に出ると泣いても笑つても一人である。地図も持たずに初めての道を西に向う。太陽が目あてである。車はいぜんとして多い七、五トンもある神風トラツクが七〇キロ位でうなりをたてゝ通り過ぎる、あぶないと思つて徐行すれば後の車が速く行けとブー／＼がなりたてる。道路は補装されてすばらしいが車が多いので危険である。進むほどに人家は少なくなり松林と畑が多くなり、神風トラツクもあまり通らなくなつた、時間にすれば小田原につく頃であるが町がなく松林ばかりである。少し変だとは思いながらどん／＼走るうちにやつと小さな町に入つた、銀行の看板を読むとなんと八王子である。しまつた道を間違えたこのまま進めば山梨県へ行くことになる。東海道は四十キロも南である。往復八十キロの損これは高知から室戸までの距離と同じだ、今度は別れ道ごと車を止めて道を確かめたU2型機で名高い厚木を通り平塚へ出たのが午後も大分遅くなつていた。小田原をすぎ箱根にかゝつたのが夕方である。天下の険を中古のルノーと素人の私の腕で越すと思うと何だか心細い気がする。私は運転免許を取つて約半年間一度もハンドルを握らず初めての運転が一番車の多い東京であるから、我ながら驚き入る。箱根の道は右に左にと曲がつている。ハンドルを廻す手は休むひまがない、初めての道だつたので峠がどこか一向に見当がつかない日も暮れたのでこゝら辺で一泊と旅館の前に車を止める。ぐつとサイドブレーキを引き外に出ろうとすると車がずる／＼と後に下がる、サイドブレーキが全然きかないのだ、止つた位置がゆるやかな坂道なのでこれには困つた。無理して止めすぐ車輪の後に石をすけてやつと安心する。谷川のせゝらぎをきゝつゝ温泉にひたるのはなかく／＼気持が良い。ぐつすり眠り朝六時出発、曲がつた道をしばらく登るとやがて芦ノ湖についた。霧のかゝつた湖を赤いモーターボートが白波をけたてて走つているなかなかよいながめだ。十国峠かどうか知らぬが峠につくと雲の上から富士山がかすんで見えているすばらしい眺めである。雷族が五人位の組で皮のジャンパーにヘルメット姿でがなりたてゝ通りすぎる、映画にある通りだ。沼津附近で雷族と三輪が衝突している、オートバイはあめの如くに曲り三輪の前も大分いたんでいた。天龍川の少し手前から雨が降り出した、窓をしめた室内は暑くてやりきれない。天龍川の鉄橋はさすがに大きなものである。道の両側は田植の盛りである、我々の目からみればその方法がのんびりしたものだ、リヤカーも殆どなく荷車が所々にみえる。苗は二番苗位の大きさでそれを手に持つて運んでいる。浜松辺りから雨が強くなつて景色はあまり見えない。

（未完）

ポンプの使い方

井戸ポンプを使うときには小刻みに激しく上下させるよりも、ゆつくりと上下いつぱいに届くように動かす方が、水の出もよく、回数も少なくてすむので、能率もあがり、ながく使用できる。

故障のおこりやすい箇所はピストンで巻いてある革が減つて、空気がもれるようになるので、ピストンを引き出し革をぐるりと回せばよい、弁の故障のときはポンプ屋に直してもらうこと。

冬、ポンプがこおるのは、ピストンの上部の水がこおるのであるから、手でにぎるハンドルの方を高くし、ピストンを下にしておけば防げる。

南国市今月の税金

九月は本年度固定資産税第二期分の納期（九月一日—三十日）です。市税務課では次の通り出張徴収をしますから期限内納税に御協力下さい。

地区	月日	時間	場所
上倉	9月26日	前11時30分—後1時	黒滝農協支所
瓶岩	9月27日	前10時—前11時	成合農協支所
〃	〃	後1時—後3時	瓶岩農協
上倉	9月28日	前10時—正午	奈路農協支所
〃	9月29日	前9時30分—正午	上倉農協
久礼田	〃	前9時30分—正午	旧久礼田村役場
大篠	9月28日	前9時—正午	明見公民館
日章	〃	前9時—正午	久枝公民館
〃	〃	後1時—後4時	下島浜公民館
長岡	9月29、30日	前9時—後4時	長岡東部公民館
国府	9月29、30日	前9時—後4時	国府農協
大篠	9月29日	前9時—正午	朝日町北公民館
〃	〃	後1時—後4時	能間公民館
〃	〃	前9時—後4時	竹中公民館
三和	〃	前9時—後4時	片山公民館
稲生	〃	前8時—前11時	稲生西谷消防屯所
〃	〃	正午—後4時	稲生立石公民館
十市	〃	前9時—正午	剣尾公民館
〃	〃	後1時—後4時	岸岡農組合
前浜	〃	前9時—正後	前浜里公民館
〃	〃	後1時—後4時	前浜中組公民館
大篠	9月30日	前9時—正午	篠原南公民館
大篠 伊達野	〃	前9時—正午	住吉野公民館
三和	〃	前9時—後4時	浜改田公民館
稲生	〃	前9時—後4時	旧稲生出張所
十市	〃	前9時—正午	大小浜公民館
〃	〃	後1時—後4時	阿戸公民館
岩	〃	前9時—後4時	旧岩村役場

◎伊達野地区は住吉野公民館え、岡豊地区は岡豊支所え野田地区、旧後免地区、稲吉、東崎西部、宇田、野中地区は市役所本庁え納めて下さい。

後免町創設に尽力した　利岡久兵衛

松村義正

野中兼山が幾多の大業をなしとげ、後世に名をなしたのは、天来非凡の才能と一世に卓越した識見とを備えていたことはもちろんであるが、そのかげには、かれの短所と欠点とを知悉して心から補佐した仕置役、小倉政平とその子政実(三省)のような善謀家があつたことをみのがすわけにはいかない。

稲吉新町（今の後免町）開設に際し、献身的にこれが推進をはかつた人に、利岡久兵衛がある。兼山が、舟入用水路とともに香長平野の開拓をなすため、これが中心地に物貨集散のまち稲吉新町をもうけることに力を入れたことは、当然の理で、その苦心はたみなみならぬものがあつたことだろう。

西野地村、大埇村境の芋原を開らき、新町建設事業に挺身藩旨に従い、とくに士族百姓などは、商家になることを嫌つた当時のことゝて、藩と住民の間にたつてその実現に献身尽力したのは、当時稲吉村にいた百人衆の郷土利岡久兵衛であつた。稲吉の鈴江潤次郎氏所蔵の古文書「御免許田記」と、「掟書」、「新町建設特典免許状」などは、後免町建設に際しての唯一の文献ではなかろうか。

久兵衛の遠祖は、京都一条家に仕え、その主一条房家とともに土佐に来り利岡村（中村市利岡）に住い「藤原」を「利岡」とあらためたもの。その後一条家の滅亡とともに十市土居家の先祖と同じく長岡郡に来り、利岡氏は稲吉村に移住し、農業をいとなみ、六代目の孫が久兵衛である。

現に後免町中町を南に入る路傍に、小祠があるが、祠の中に墓碑が二つあり「利岡家」の先祖様といわれいまなを縁者によつて祭祀されている。これは久兵衛夫婦の墓碑であると篠原の利岡義重氏方の記録書に書かれてある。

久兵衛の子孫は、後免町利岡家、小篠家、十市、片山の利岡家となり繁栄している。

あとがき

十一号が秋のおとずれとともにできた。もちろん満足すべきできばえではないがとにかくでき上つてくるのがたのしみとなり、苦しみともなつてくる。記事が多い程もり上りもでき広報もよくなる。

○せつかく広報通信員が設けられているから珍らしいこと、いろんなできごと、意見など、どしどし通信員か、委員会のもとへおよせ下さい。

○広報に親しみをもたすため、次号から市内の名鑑のようなものを掲載したいと思つています。いゝかえれば広告ですが掲載希望をされるむきは御連絡下さい。

○いよいよ十月から国民年金が実施される。これについてはいろいろ疑問の点があると思いますが、そのような不審なことがらの質問などあれば調査し回答します。